【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2006-323179(P2006-323179A)
【公開日】平成18年11月30日(2006.11.30)
【年通号数】公開・登録公報2006-047
【出願番号】特願2005-146838(P2005-146838)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　5/00　５２０Ｔ
Ｇ０９Ｇ　5/00　５１０Ｖ

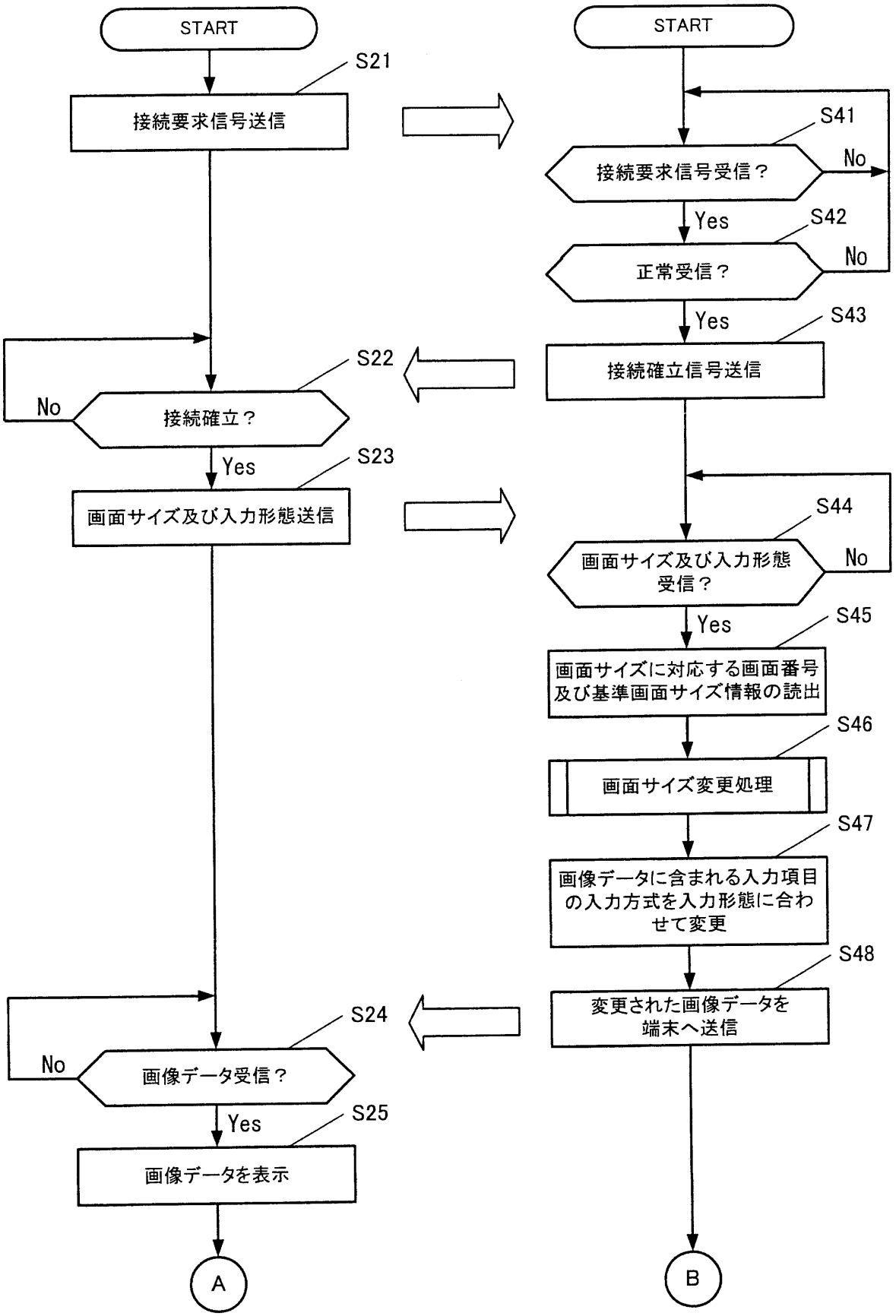
【手続補正書】
【提出日】平成20年4月14日(2008.4.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記憶手段に記憶された画面データの表示を行うデータ処理装置において、
入力装置を接続するための入力装置接続手段と、
前記入力装置接続手段により接続された入力装置の入力形態を取得する入力形態取得手段と、
前記入力形態取得手段により取得された入力形態に基づき、前記画面データに含まれる入力項目の入力方式を変更する入力方式変更手段と、
前記入力方式変更手段により変更された画面データを表示装置に表示させる表示制御手段、
を備えたことを特徴とするデータ処理装置。
【請求項２】
表示装置の種別を取得する表示種別取得手段を更に有し、
前記表示制御手段は、
前記表示種別取得手段により取得された種別に基づき変更された画面データを表示させることを特徴とする請求項１記載のデータ処理装置。
【請求項３】
記憶手段に記憶された画面データの表示を行うデータ処理装置のコンピュータを、
入力装置を接続するための入力装置接続手段、
前記入力装置接続手段により接続された入力装置の入力形態を取得する入力形態取得手段、
前記入力形態取得手段により取得された入力形態に基づき、前記画面データに含まれる入力項目の入力方式を変更する入力方式変更手段、
前記入力方式変更手段により変更された画面データを表示装置に表示させる表示制御手段、
として機能させるデータ処理プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】データ処理装置、及びデータ処理プログラム
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、データ処理装置及びデータ処理プログラムに関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
本発明の課題は、接続される入力装置の入力形態に応じて、画面データに含まれる入力項目の入力方式を変更させることが可能なデータ処理装置、及びデータ処理プログラムを提供することである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記課題を解決するために、請求項１記載の発明は、記憶手段に記憶された画面データの表示を行うデータ処理装置において、入力装置を接続するための入力装置接続手段と、前記入力装置接続手段により接続された入力装置の入力形態を取得する入力形態取得手段と、前記入力形態取得手段により取得された入力形態に基づき、前記画面データに含まれる入力項目の入力方式を変更する入力方式変更手段と、前記入力方式変更手段により変更された画面データを表示装置に表示させる表示制御手段、を備えたことを特徴とする。
更に、コンピュータを上述した請求項１記載の発明に示した各手段として機能させるためのプログラムを提供する（請求項３記載の発明）。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
更に、請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の発明において、表示装置の種別を取得する表示種別取得手段を更に有し、前記表示制御手段は、前記表示種別取得手段により取得された種別に基づき変更された画面データを表示させることを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
接続される入力装置の入力形態に応じて、画面データに含まれる入力項目の入力方式を変更させることが可能なデータ処理装置、及びデータ処理プログラムを提供することができる。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
＜第１の実施形態＞
以下、本発明のデータ処理装置１０の第１の実施形態について説明する。
図１にデータ処理装置１０の機能的構成を示す。図１に示すように、データ処理装置１０は、ＣＰＵ１１、ＲＯＭ１２、ＲＡＭ１３、記憶部１４、表示装置Ｉ／Ｆ部１５、入力装置Ｉ／Ｆ部１６、印刷部１７、通信制御部１８等を備えて構成され、各部はバス１９により接続されている。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８９】
ステップＳ４２において、正常に受信することができなかったと判定された場合には（ステップＳ４２；Ｎｏ）、ステップＳ４１に再び戻り接続要求信号が受信されるまで待機が行われる。また、ステップＳ４２において、正常に受信できたと判定された場合には（ステップＳ４２；Ｙｅｓ）、接続が確立したことを指示する接続確認信号が端末３０に送信される（ステップＳ４３）。
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９０】
一方、端末３０では、接続確立信号の受信が待機されており（ステップＳ２２；Ｎｏ）、この接続確立信号が受信されると（ステップＳ２２；Ｙｅｓ）、表示部３２の画面サイズを示す情報と、入力部３３の入力形態を示す情報とがデータ処理装置１０に送信される（ステップＳ２３）。
【手続補正２２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１３】


START
S21
接続要求信号送信
S22
No
接続確立？
Yes
S23
画面サイズ及び入力形態送信
S24
No
画像データ受信？
Yes
S25
画像データを表示
A
START
S41
接続要求信号受信？
No
Yes
S42
正常受信？
No
Yes
S43
接続確立信号送信
S44
画面サイズ及び入力形態受信？
No
Yes
S45
画面サイズに対応する画面番号及び基準画面サイズ情報の読出
S46
画面サイズ変更処理
S47
画像データに含まれる入力項目の入力方式を入力形態に合わせて変更
S48
変更された画像データを端末へ送信
B